



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

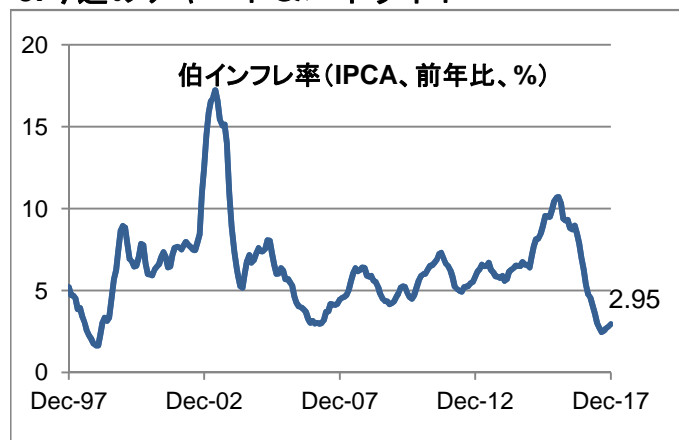
			1月8日	1月9日	1月10日	1月11日	1月12日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2370	3.2500	3.2350	3.2150	3.2050	-0.0100
	BRL/JPY	Spot	34.93	34.66	34.40	34.57	34.63	+0.06
	EUR/USD	Spot	1.1962	1.1932	1.1963	1.2038	1.2179	+0.0141
	USD/JPY	Spot	113.10	112.61	111.31	111.11	111.03	-0.08
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.632	6.637	6.657	6.695	6.717	0.022
	Future	1Year(p.a.)	6.832	6.838	6.897	6.930	6.968	0.038
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.433	2.445	2.416	2.423	2.423	-0.001
	USD	1Year(p.a.)	2.614	2.636	2.636	2.628	2.631	+0.003
株式	Bovespa指数		79,378.56	78,863.56	78,200.56	79,365.44	79,349.13	-16.31
CDS	CDS Brazil 5y		145.86	145.94	147.43	146.49	145.51	-0.98
商品	CRB指数		192.918	194.155	194.830	195.160	196.056	+0.896

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは11月下旬以来の3.20台前半へ上昇。
- 週初のレアルは3.2320で寄り付いた。伯政府の財政問題を巡る報道には反応を示さず、週前半は3.23台を中心に方向感を欠く展開が続いた。週末には週間安値の3.2550まで下げたが、継続的な資金流入や予想を下回る米物価指標を受けたドル売りに伴いレアルは3.21台へ上昇。その後、11日引け後にS&Pがブラジルの格下げを発表したが、幅広く予想されていたため翌12日の市場で特段の反応は見られなかった。リスクオンムードを背景にドルが下落する中、週末にかけてレアルは高値3.2030まで上昇。そのまま高値圏の3.2050で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が1.00%から1.01%に上方修正され、2018年は2.70%から2.69%に下方修正された。インフレ率予想は2017年が2.78%から2.79%に上方修正されたが、2018年は3.96%から3.95%に下方修正。2018年末の為替レートは3.34で据え置かれた。
- 9日に発表された11月の伯広義小売売上高は前月比+2.5%と予想の+0.3%を大きく上回った。前年比では+8.7%と引き続き堅調な伸びとなり、伯中銀による金融緩和や労働市場悪化の底入れを背景に消費が回復傾向にあることを改めて示した。
- 11日、S&Pはブラジルのソブリン格付を「BB」から「BB-」に引き下げ、見通しを「安定的」とした。格下げの主な背景は年金改革を中心とする財政再建策の遅れと、今年10月の大統領選を巡る不確実性。S&Pによる格下げが幅広く予想されていたことに加え、見通しが「安定的」とされたことから市場の反応は限られ、レアル相場やボベスパ指数、CDSスプレッドに関して特に反応は見られなかった。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所：Bloomberg

2017年の伯インフレ率は1998年以來の低い水準

10日に発表された12月の伯インフレ率(IPCA)は前年比+2.95%と前月の+2.80%から上昇したものの、2017年通年のインフレ率は1998年(+1.65%)以来の低い水準となった。伯中銀・財務省による目標4.5%を下回った他、目標レンジ(3.0%-6.0%)の下限を割る結果となった。伯中銀は財務省に対し、目標レンジを下回った要因は農業部門の歴史的豊作による食品価格下落によるものとの説明を実施。低位で推移するインフレ率を受け、金利先物市場は引き続き2月COPOMにおける0.25%の利下げを約75%織り込んでいる。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.15－3.25

来週のレアルは国内での材料を欠く中、世界的なリスクオンムードを背景に堅調な動きを予想する。今週、S&Pがブラジルの格下げを決定したが、市場は織り込み済みだったことから特に反応を示さなかった。他の大手格付会社2社（ムーディーズ、フィッチ）は2月以降に予定されている年金改革法案に関する審議・採決の結果を待つものと予想され、短期的には格付を巡る動きへの市場の注目度は低下するものと見られる。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IBGEサービス部門売上高 前年比	-1.0%	-0.7%	-0.3%
米	消費者物価指数(前月比)	0.1%	0.1%	0.4%
米	CPI除食品・エネルギー(前月比)	0.2%	0.3%	0.1%
米	CPI(前年比)	2.1%	2.1%	2.2%
米	小売売上高速報(前月比)	0.5%	0.4%	0.8%
米	小売売上高(除自動車/前月比)	0.3%	0.4%	1.0%
米	小売売上高(除自動車・ガソリン)	0.4%	0.4%	0.8%
米	企業在庫	0.4%	0.4%	-0.1%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	1/15	経済活動(前月比)	Nov	0.40%	0.29%
ブラジル	1/15	経済活動(前年比)	Nov	2.60%	2.92%
ブラジル	1/15	貿易収支(週次)	Jan/14	--	\$513m
ブラジル	1/15	CNI設備稼働率(季調済)	Nov	--	77.7%
ブラジル	1/15	CNI産業信頼感	Jan	--	58.3
ブラジル	1/15	税金	Dec	138800m	115089m
ブラジル	1/15	Federal Debt Total	Dec	--	3493b
ブラジル	1/16	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Jan	0.78%	0.90%
ブラジル	1/16	FGV CPI IPC-S	Jan/15	0.44%	0.31%
米	1/16	ニューヨーク連銀製造業景気指数	Jan	19	18
ブラジル	1/17	FIPE CPI-週次	Jan/15	0.60%	0.55%
米	1/17	鋳工業生産(前月比)	Dec	0.4%	0.2%
ブラジル	1/18	IGP-M Inflation 2nd Preview	Jan	0.75%	0.88%
米	1/18	住宅着工件数	Dec	1275k	1297k
米	1/19	ミシガン大学消費者マインド	Jan	97.0	95.9

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。